

仕 様 書

1. 業務名

第16号 住民税・固定資産税データ作成業務委託

2. 期間

契約締結日から令和9年3月31日（水）

3. 業務の内容及び発注予定件数

次に掲げる①～④の業務にかかるデータ作成委託および①～②の業務にかかるスキニングしたイメージデータの作成

（データレイアウト及び詳細な仕様は別紙のとおり。ただし、データレイアウト等の仕様については、未確定のため変更があり次第、協議して対応すること。）

《個人住民税関係》	発注予定件数
① 給与支払報告書	20,000件
② 年金支払報告書（給報タイプ）	100件
《固定資産税（償却資産）関係》	
③ 償却資産申告書	300件
④ 償却資産種類別明細書	2,600件

※個人番号は、本人分のみでなく、配偶者や被扶養者についても入力する。

4. 履行場所

業務の履行場所は、日本国内において用意する作業場所とし、業務で扱う個人情報について流出がないよう、必要な措置が講じられたものでなければならない。

5. 品質の管理

パンチ入力は、データ品質保持のため、異なる作業者によって2回入力することとし、各入力項目を照合したうえエラー修正を行い、データ作成後に発注データ数との突合や入力項目等の確認を行ったうえで納品すること。

総括表記載の人数とキーパンチデータ件数の突合で検品作業を行うこと。不一致がある場合は課題管理表に記入して原因を調査し、発注者に報告して対処すること。

また、情報セキュリティマネジメントシステム規格であるISMS（ISO27001）またはプライバシーマークを保有していなければならないものとし、入札時に提出する一般競争入札参加資格確認申請書と同時に登録証等の写しを発注者に提出すること。

6. 帳票及び納品データの受渡し方法

郵送や宅配は不可とし、発注者が指定する日に、受注者が当市税務課窓口で直接受渡しする。運搬する際には、施錠ができる容器を使用し、紛失や盗難等に十分注意すること。

（指定する日は、受注者と相談のうえ、令和9年1月から令和9年3月末まで概ね1週間毎に設定する。）

7. 作成データの納品

6. で定める指定日にデータ原票を受け取り、次週の指定日に納品することとする。

8. 作成データの受渡し媒体

次のとおりとする。

① 個人住民税関係 コンパクトディスク（CD-R）・・・12cm、700MB または 650MB

② 固定資産税関係 コンパクトディスク（CD-R）・・・12cm、700MB または 650MB

その他の媒体を使用する場合については別途協議する。

9. 個人情報の取扱い

業務の履行にあたっては、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、個人情報保護委員会が定める特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン、近江八幡市個人情報保護条例及び別記「情報セキュリティ特記事項」を遵守すること。

10. 再委託の禁止

受注者は、発注者の承諾があるときを除き、第三者へ業務を委託してはならない。

11. 監督

発注者は、必要があると認める場合は、データ、個別仕様書等その他の委託業務の履行に必要な書類及びプログラムの管理状況並びに委託業務の履行状況について、いつでも受注者に対して報告を求め、作業場所等に立ち入って検査し、又は必要な指示等を行えるものとする。

また、業務の一部を再委託した場合でも、再委託先に対して同様の措置を講ずることができるものとする。

12. その他指示事項

① 別紙「パンチ入力仕様」のとおり、項目（一覧の備考欄に印のある項目。なお、カッコ内の数字はサンプルの参考位置を示している）をそれぞれパンチし、データをアウトプットすること。

② 発注者と受注者で事前協議のうえテストを行い、業務に着手すること。

③ 給与支払報告書

・原票はA5とじ紐綴じで、1簿冊につき約100～200枚の給与支払報告書（以下、給報）をセット。（1事業所で報告枚数が多い場合は、この限りではない）

・資料区分が特徴および普徴の2000番台の簿冊については、必ず指定番号があるので入力のこと。また、下記の補足説明事項に留意のうえ、データ入力のこと。

資料区分	冊号	補足説明
特徴	0001～0999 (特徴) 1001～1999 (強制特徴)	簿冊内の各事業所別総括表の後ろに、特別徴収と普通徴収の両方の個人別明細書が綴じられる。 普通徴収としてデータ入力するのは、個人別明細書に「普通徴収」と明記してあるもののみとする。
普徴	2001～2999 (指定番号あり) 3001～3999 (指定番号なし)	簿冊内は、全て普通徴収となる。 この簿冊分については、個人別明細書に「普通徴収」と明記はしないが、全て普通徴収でデータ入力すること。

④ 年金支払報告書

- ・原票はA6もしくはA4とじ紐綴じで、1簿冊につき約100枚の年金支払報告書（以下、年報）をセット。

<参考>

・特徴給報

表紙＋〔総括表＋特徴仕切紙＋給与支払報告書（特徴個票）＋普通徴収への切替理由書（仕切紙）＋給与支払報告書（普徴個票）〕＋〔 〕＋〔 〕＋・・・

・普徴給報

表紙＋〔総括表＋給与支払報告書（普徴個票）〕＋〔 〕＋〔 〕＋・・・

・年報

表紙＋〔公的年金等支払報告書（年金個票）〕＋〔 〕＋〔 〕＋・・・

⑤ 償却資産申告書

- ・資産名称については全角で入力。全角入力で40文字を超えるものがある場合は発注者に連絡すること。
- ・その他は、別紙「償却資産申告書パンチ仕様書」記載のとおりとする。

⑥ 受注者への最終支払額については、入力データの実績件数に契約単価を乗じて積算し、支払額を確定するものとする。

⑦ 受注者は委託業務の作業場所に管理者を常駐させること。

管理者は業務実績の報告や業務遂行上必要な協議を発注者で行うなど、受注者における発注者との窓口として機能すること。その他委託業務の全体像を把握したうえで、業務進捗の管理、要員の教育、資料等の管理、要員の配置や労務管理等、業務を円滑に遂行するために必要な管理者としての業務を全般的に担うこと。

⑧ 業務の履行にあたっては、各種法令、契約事項、本仕様書及び監督員の指示に基づくこと。

個人住民税

1.パンチ共通仕様（令和9年度暫定版）

1.1.入力票一覧

入力する原票は以下の表のとおりです。

帳票NO、帳票枚数識別値は、イメージパンチ時にイメージファイルのファイル名を付与する際に使用します。

（イメージファイル名作成仕様については別紙「イメージファイル仕様」を参照してください。）

入力票名称	帳票NO	パンチファイル名
給与支払報告書	050	DAKYUHO.CSV
公的年金等支払報告書	060	DAKYUHO.CSV

1.2.ファイルの仕様について

<媒体>

コンパクトディスク（CD-R）・・・3.5 インチ、640MB、FAT 形式もしくは DVD

媒体についてはパンチデータ及びイメージデータを基幹系システムで読み込むことができる媒体を選択してください。

その他の媒体については別途検討が必要となります。

<文字コード>

Shift-JIS

<ファイル形式>

パンチファイル・・・カンマ区切りテキストファイル（CSV ファイル）（可変長）

イメージファイル・・・画像形式（TIFF：モノクロ（白黒）、JPEG：カラー）

<ファイル名>

パンチファイル・・・DAKYUHO.CSV、JASHINKOKUSYO.CSV

イメージファイル・・・JA010-0101-000001.tif 等（詳細はイメージファイル仕様を参照）

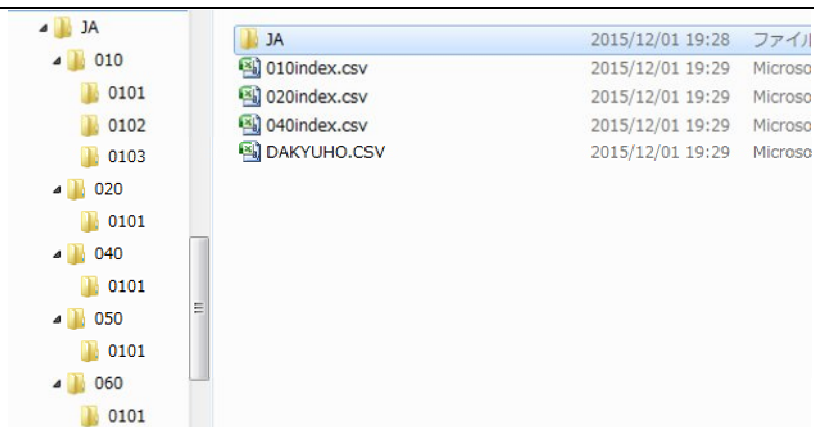
1.3.ファイルの格納について

入力原票の内容をパンチしたデータ（パンチファイル）、およびイメージエントリを使用する場合にはパンチファイルとイメージを結びつけるためのスキナで作成したイメージファイルが必要です。

パンチファイルは、媒体の直下に格納してください。

イメージファイルについては、「イメージファイル仕様(1.4.イメージファイル格納階層構成)」を参照してください。

<格納イメージ>

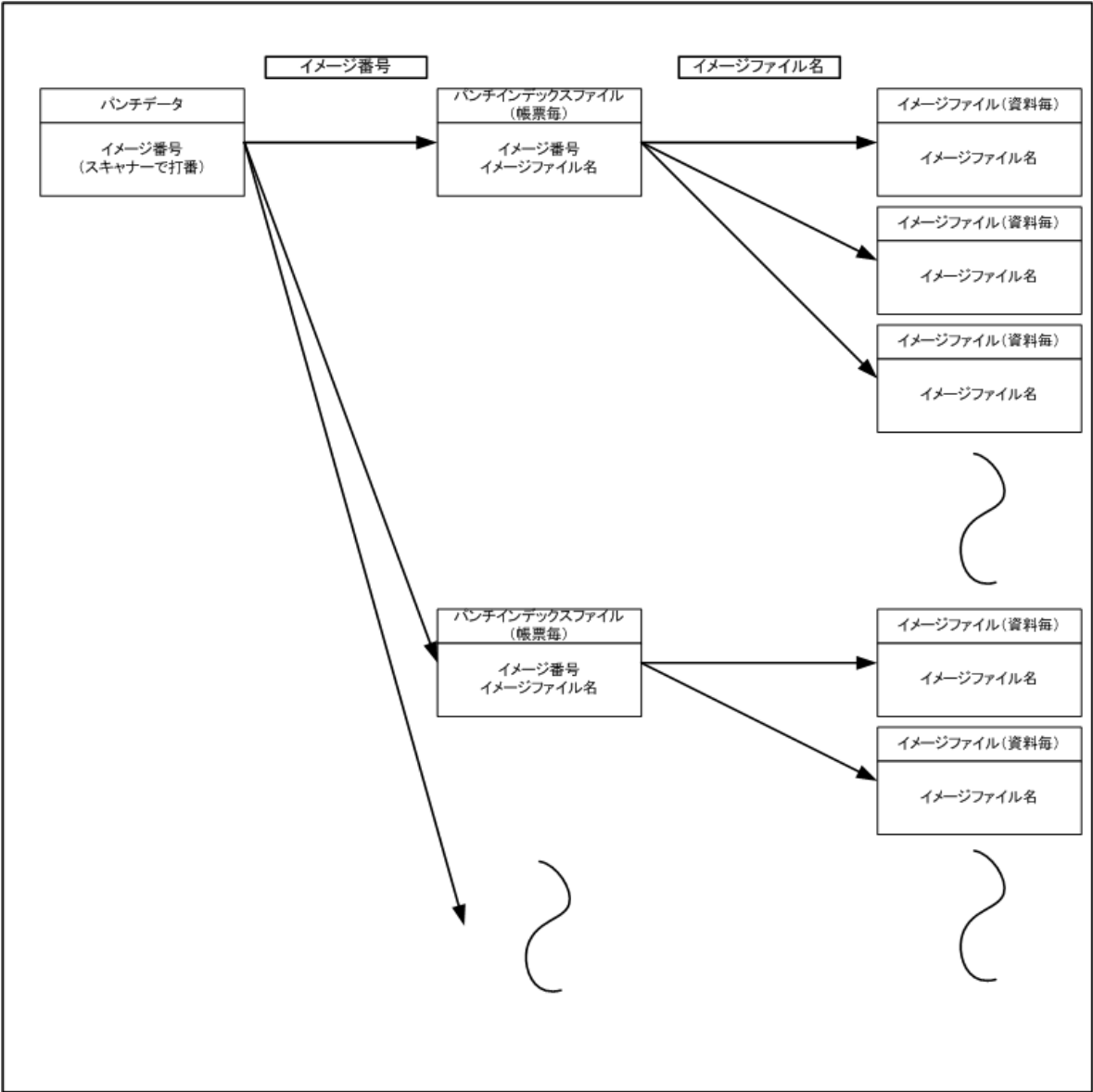


実際に納品していただく際には以下の種類毎に媒体を分けて納品していただくようお願いいたします。

給与支払報告書、公的年金等支払報告書

1.4.ファイル関連図

各ファイルの関連は、以下の通りです。



個人住民税

1.イメージファイル仕様（令和9年度暫定版）

1.1.概要

パンチする入力原票をスキャナーで取り込んでイメージファイルを作成します。

イメージファイルは以下のとおり作成してください。

1.2.イメージファイル名

J A X X X - K K K K - N N N N N N . e x t

X X X 帳票 No（数値3桁）（パンチ共通仕様の1.1入力票一覧を参照）

K K K K 管理 No（数値4桁）（複数冊号毎（約3000枚区切り）に一意となる番号（先頭の冊号番号等）。また、冊号ごとに一意となる番号（冊号番号等）でも可。）

N N N N N N 連番（数値6桁）

（管理 No 単位で入力原票ごとに一意となる番号（スキャナで自動付番された番号等））

複数冊号毎に管理 No を設定し同管理番号内を冊号毎に区分けしたい場合は、飛び番を起こしても構いません。

（例）管理 No.0001（冊号番号 0001～0003）

→ JA050-0001-010001 ～ JA050-0001-010300（冊号番号：0001）

JA050-0001-020001 ～ JA050-0001-020300（冊号番号：0002）

JA050-0001-030001 ～ JA050-0001-030300（冊号番号：0003）

. e x t 拡張子

（例）モノクロ（白黒） → TIFF ファイル（.tif）

カラー → JPEG ファイル（.jpg）

上記の通り、年度毎に一意となる番号を付番してください。

帳票に打番する位置については、顧客との打合せ後決定。

打番：JAXXX-KKKK-NNNNNN

1.3.イメージファイルについて

1 ファイル 300KB 以内とし、1 枚のイメージにつき 1 ファイルで作成してください。

カラー：2 値、解像度：300dpi

1.4.イメージファイル格納階層構成

以下の通りのフォルダ構成で、イメージファイルを媒体に格納してください。

rootー（業務コード）

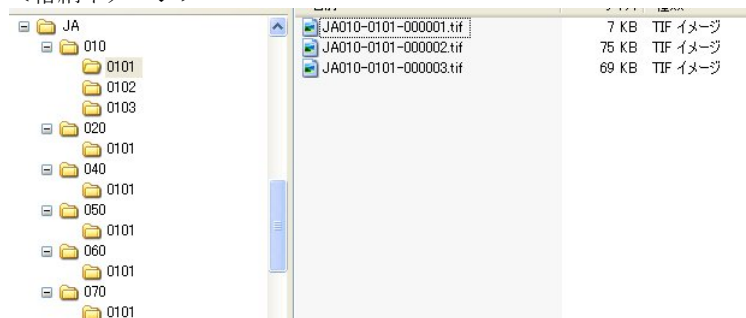
| _____（帳票NO）

| _____（管理NO）

| _____イメージファイル

:

<格納イメージ>



注）フォルダ構成と実際の格納ファイルの同期が取れていないとイメージの取り込みができなくなります。名称等は正確に作成してください。

ファイル設計書

2026/09/07 16:04:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO.CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
1 区分		NN	数字	1	“1”	”2”	”4”	“3”	“1”	“3”		
2 バッチ連番		NN	数字	4	(1)				(1)			
3 処理コード			数字	5								
4 件数			数字	4	(2)	(3)			(2)			
5 指定番号			数字	12		(5)			(6)			
6 整理番号			数字	5				(6)				
7 受給者番号			文字	25				(7)				
8 パンチカナ氏名			文字	25				(8)		(6)		
9 パンチ生年月日			数字	7				(54)		(7)		
10 宛名番号			数字	12								
11 資料番号			数字	17								
12 徴収区分			数字	1	(3)		(1)		“3”	“3”		
13 普徴区分			数字	1				(9)				
14 支払金額			数字	9				(10)				
15 給与所得控除後の金額			数字	9				(11)				
16 所得控除合計額			数字	9				(12)				
17 源泉徴収税額			数字	9				(13)				
18 控対配有り			数字	1				(14)		(17)		
19 控対配なし			数字	1								
20 控対配老人			数字	1				(16)		(19)		
21 配偶者(特別)控除			数字	6				(17)				
22 扶養特定			数字	1				(18)		(20)		
23 扶養同居老親			数字	1				(19)				
24 扶養老人合計			数字	1				(20)		(21)		
25 扶養一般			数字	2				(21)		(22)		
26 特別障害同居			数字	1				(22)		(27)		
27 特別障害合計			数字	1				(23)		(23)		
28 その他障害			数字	1				(24)		(24)		
29 社会保険料控除			数字	9				(25)		(25)		

ファイル設計書

2026/09/07 16:04:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO. CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
30 小規模企業共済掛金控除			数字	9				(26)				
31 生命保険料控除			数字	9				(27)				
32 地震保険料控除			数字	9				(28)				
33 住宅取得等特別控除			数字	9				(29)				
34 特別減税額			数字	9								
35 前職分給与支払額			数字	9				(35)				
36 配偶者所得			数字	9				(30)	(30)			
37 旧個人年金保険料支払額			数字	9				(31)				
38 旧長期損害保険料支払額			数字	9				(32)				
39 本人夫あり			数字	1								
40 本人未成年者			数字	1				(37)				
41 乙欄区分			数字	1				(38)				
42 本人特別障害			数字	1				(39)	(14)			
43 本人その他障害			数字	1				(40)	(15)			
44 本人老年者			数字	1								
45 本人寡婦			数字	1				(42)	(29)			
46 本人寡婦 (特別)			数字	1								
47 本人寡夫			数字	1								
48 本人勤労学生			数字	1				(45)				
49 本人死亡退職			数字	1				(46)				
50 本人災害者			数字	1				(47)				
51 本人外国人			数字	1				(48)				
52 就職区分			数字	1				(49)				
53 退職区分			数字	1				(50)				
54 年			数字	2				(51)				
55 月			数字	2				(52)				
56 日			数字	2				(53)				
57 入力区分			数字	2	” 3 0 ”				” 1 1 ”			
58 種別名称			日本語	10								

ファイル設計書

2026/09/07 16:04:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO.CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
59 年金支払額 1			数字	9						(8)		
60 年金源泉税額 1			数字	9						(9)		
61 年金支払額 2			数字	9						(10)		
62 年金源泉税額 2			数字	9						(11)		
63 年金支払額 3			数字	9						(12)		
64 年金源泉税額 3			数字	9						(13)		
65 種別コード			数字	1								
66 不明フラグ			数字	1								
67 イメージ番号			文字	15								
68 国民年金保険料			数字	12				(56)				
69 パンチ連番			数字	8								
70 住宅借入金控除可能額			数字	9				(57)				
71 年調区分			数字	1	(4)							
72 件数 2			数字	4								
73 特別徴収義務者コード			数字	3								
74 性別コード			数字	1								
75 氏名 (漢字)			文字	25								
76 郵便番号			数字	7								
77 住所 (漢字)			文字	80								
78 居住開始年 1			数字	2				(58)				
79 居住開始月 1			数字	2				(58)				
80 居住開始日 1			数字	2				(58)				
81 住宅借入金等特別控除区分 1			数字	2				(59)				
82 借入金等年末残高 1			数字	8				(60)				
83 居住開始年 2			数字	2				(61)				
84 居住開始月 2			数字	2				(61)				
85 居住開始日 2			数字	2				(61)				
86 住宅借入金等特別控除区分 2			数字	2				(62)				
87 借入金等年末残高 2			数字	8				(63)				

ファイル設計書

2026/09/07 16:04:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO.CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
88 住宅借入金等特別控除適用数			数字	1				(64)				
89 16 歳未満扶養親族			数字	2				(65)		(26)		
90 旧生命保険料支払額			数字	9				(67)				
91 新生命保険料支払額			数字	9				(66)				
92 新個人年金保険料支払額			数字	9				(69)				
93 介護医療保険料支払額			数字	9				(68)				
94 訂正区分			数字	1				(70)		(70)		
95 条約免除区分			数字	1				(71)				
96 数値予備 1			数字	5		(7)						
97 数値予備 2			数字	5				(92)				
98 数値予備 3			数字	5								
99 特定取得区分 1			数字	1								
100 特定取得区分 2			数字	1								
101 年金支払額 4			数字	9						(72)		
102 年金源泉税額 4			数字	9						(73)		
103 個人番号・法人番号			数字	13		(6)		(76)		(76)		
104 配偶者個人番号			数字	12				(77)		(77)		
105 扶養親族個人番号 1			数字	12				(78)		(78)		
106 扶養親族個人番号 2			数字	12				(79)		(79)		
107 扶養親族個人番号 3			数字	12				(80)				
108 扶養親族個人番号 4			数字	12				(81)				
109 16 歳未満個人番号 1			数字	12				(82)		(82)		
110 16 歳未満個人番号 2			数字	12				(83)		(83)		
111 16 歳未満個人番号 3			数字	12				(84)				
112 16 歳未満個人番号 4			数字	12				(85)				
113 扶養親族欄外有無			数字	1				(86)				
114 16 歳未満欄外有無			数字	1				(87)				
115 非居住者の親族の数			数字	2				(88)		(88)		
116 基礎控除			数字	10				(89)				

ファイル設計書

2026/09/07 16:04:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO.CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
117 所得金額調整控除			数字	10				(90)				
118 ひとり親			数字	1				(91)		(91)		
119 予備項目文字			文字	300								
120 源泉徴収時所得税減税 控除済額			数字	12								
121 控除外額			数字	12								
122 非控除対象配偶者 減税有			数字	1								
123 特定親族			数字	2				(95)				
124 特定親族特別控除			数字	12				(96)				
124 扶養親族の区分1			数字	2				(97)				
125 扶養親族の区分2			数字	2				(98)				
126 扶養親族の区分3			数字	2				(99)				
127 扶養親族の区分4			数字	2				(100)				

※金額等にマイナスがある場合は数字の前にマイナス「-」を入力してください。(ex.) -10000)

※給報(特徴、普徴、専従者)および年金給報についてこのレイアウトでデータを作成してください。(全て同じファイル名(DAKYUHO.CSV)です。)

※冊号、総括表、給報は全て同一のレイアウトです。それぞれ指示のある項目に該当する項目を入力してください。

個人住民税

1.給与支払報告書パンチ入力仕様（令和 9 年暫定度版）

1.1.概要

給与支払報告書については、以下のようなかたまりで送付されてきます。

- ① 表紙
- ② 総括表
- ③ 仕切紙
- ④ 給与支払報告書

① が大枠で②が中枠、④が明細となります。

この内容で、CSV 形式（カンマ編集）でレコードを出力します。

1.2.実際のパンチ

1.2.1.表紙の入力 (①)

表紙には、バッチ連番・件数・徴収区分・入力区分・イメージ番号が記入されています。

- ➡ 区分 1（冊号）を入力
- ➡ バッチ連番 ①冊号に記入してある数値を入力
- ➡ 件数 ②表紙に記入してある件数を入力
- ➡ 徴収区分 ③資料区分にチェックをつけてある名称により入力
(特徴・・・2、普徴・・・1)
- ➡ 入力区分 3 0
- ➡ 不明フラグ 1.4 を参照し該当の番号を入力
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
- ➡ 年調区分 使用しない

1.2.2.総括表の入力 (②)

総括表には、事業所番号（指定番号）・人数・イメージ番号が記入されています。

- ➡ 区分 「2」（総括表）を入力
- ➡ 件数（合計件数） ④総括表に記入してある件数を入力。
- ➡ 指定番号 ⑤指定番号を入力
- ➡ 不明フラグ 1.4 を参照し該当の番号を入力
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
- ➡ 個人番号又は法人番号 ⑥個人番号及び法人番号を入力
- ➡ 納入書の送付 ⑦必要にサインがあるとき 1、不要にサインがあるとき 2 を入力、
サインがなければ入力なし

1.2.3.仕切紙の入力 (③)

仕切紙には、徴収区分（特別徴収、普通徴収）が記入されています。

- ➡ 区分 「4」（仕切紙）を入力
- ➡ 徴収区分 「1」（普徴）を入力
- ➡ 不明フラグ 1.4 を参照し該当の番号を入力
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力

1.2.4.給与支払報告書の入力 (④)

明細の給与支払報告書については、サンプルに数字を振ってありますので、その個所をパンチします。

- ㊦ 区分 「3」 (給報) を入力
- ㊦ 整理番号 ⑥記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 受給者番号 ⑦〃
- ㊦ パンチカナ氏名 ⑧記入があればパンチ、なければ入力なし (半角カナで入力)

※ 姓名の間に1スペース入れてください。

※ カナ欄が無記入でも漢字欄にカタカナまたはひらがなで記入されている場合は、漢字欄に記載のものを

※ 「ー」(長音)については「- (ハイフン)」「ー (長音)」いずれの入力でも可能です。

- ㊦ パンチ生年月日 54 和暦 7 桁で入力する。
 年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
 (元号：明治、明、M…1、大正、大、T…2、昭和、昭、S…3、平成、平、H…4、令和、令、R…5)
 (例：昭和45年3月27日だった場合→3450327 と入力する。)
- ㊦ 資料番号 使用しない
- ㊦ 徴収区分 入力なし
- ㊦ 普徴区分 摘要欄にサイン (「普通徴収」のスタンプもしくは普通徴収に赤
 ○)があれば「5」を入力。ただし、⑨種別 (上段中央) に2と赤
 書き記入されていたら「2」を優先して入力。どちらもなければ入
 力なし。
 普徴の簿冊では原則「5」を入力するが、⑨種別に2と赤書き記
 入されていれば、「2」を優先して入力。
- ㊦ 支払金額 ⑩記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 給与所得控除後の金額 (調整控除後) ⑪記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 所得控除合計額 ⑫記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 源泉徴収税額 ⑬記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 控対配あり ⑭にサイン (1、*、○等) があるとき1、なければ入力なし
- ㊦ 控対配老人 ⑯にサイン (1、*、○等) があるとき1、なければ入力なし
- ㊦ 配偶者(特別)控除 ⑰に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 扶養特定 ⑱に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養同居老親 ⑲に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養老人合計 ⑳に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養一般 ㉑に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 特別障害同居 ㉒に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 特別障害合計 ㉓に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ その他障害 ㉔に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 社会保険料控除 ㉕に記入があればその金額、なければ入力なし

※社会保険料等の金額の下段 (1段のみの場合は社会保険料控除とする。)

- ㊦ 小規模企業共済等掛金控除 2段書きで㉖に記入があればその金額、なければ入力なし

※社会保険料等の金額の上段 (1段のみの場合は社会保険料控除とする。)

- ㊦ 生命保険料控除 ㉗に記入があればその金額、なければ入力なし

- ㊦ 地震保険料控除..... 28 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 住宅取得等特別控除..... 29 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 前職分給与支払額..... 35 のあたりにある前職分給与？？？円 といった記入に対して
「黄色マーカーがある場合や、赤字で記入がある場合」にはその金額、なければ入力なし
- ㊦ 配偶者所得..... 30 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 新生命保険料支払額..... 66 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 旧生命保険料支払額..... 67 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 介護医療保険料支払額..... 68 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 新個人年金保険料支払額..... 69 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 旧個人年金保険料支払額..... 31 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 旧長期損害保険料支払額..... 32 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 本人未成年者..... 37 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 乙欄区分..... 38 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人特別障害..... 39 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人その他障害..... 40 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人寡婦..... 42 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人寡婦（特別）..... 入力なし
- ㊦ 本人寡夫..... 入力なし
- ㊦ 本人勤労学生..... 45 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人死亡退職..... 46 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人災害者..... 47 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人外国人..... 48 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 就職区分..... 49 にサインがあれば1、なければ入力なし
ただし、50 にサイン（1、*、○等）があれば入力なし
- ㊦ 退職区分..... 50 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 年・月・日..... 51・52・53 に記入があればそれぞれの記入内容を入力、なければ
入力なし（YYMMDD(和暦（元号なし）前0つきの6桁で入力）
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
2段書きの場合には下段のみを入力する
- ㊦ 不明フラグ..... 1.4 を参照し該当の番号を入力
- ㊦ イメージ番号..... スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
- ㊦ 国民年金保険料等の金額..... 56 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 住宅借入金等控除可能額..... 57 に記入があればその金額、なければ入力なし。
- ㊦ 居住開始年 1..... 58 に記入があれば、年の内容を入力。なければ入力なし。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
- ㊦ 居住開始月 1..... 58 に記入があれば、月の内容を入力。なければ入力なし。
- ㊦ 居住開始日 1..... 58 に記入があれば、日の内容を入力。なければ入力なし。
- ㊦ 住宅借入金等特別控除区分 1..... 59 に赤字でコードの記入があれば、記入されている数値を入力。
- ㊦ 借入金等年末残高 1..... 60 に記入があれば、記入されている金額を入力。
- ㊦ 居住開始年 2..... 61 に記入があれば、年の内容を入力。なければ入力なし。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。

- ➡ 居住開始月 2 61 に記入があれば、月の内容を入力。なければ入力なし。
- ➡ 居住開始日 2 61 に記入があれば、日の内容を入力。なければ入力なし。
- ➡ 住宅借入金等特別控除区分 2 62 に赤字でコードの記入があれば、記入されている数値を入力。
- ➡ 借入金等年末残高 2 63 に記入があれば、記入されている金額を入力。
- ➡ 住宅借入金等特別控除適用数 64 に記入があれば、記入されている数値を入力。
- ➡ 16 歳未満扶養親族 65 に記入があれば、記入されている数値を入力。
- ➡ 訂正区分 70 摘要欄に訂正等の文字があり赤○されていれば、1 を入力。
- ➡ 条約免除区分 71 摘要欄に「○○条約○○条該当」等の文字があり赤○されて
いれば、1 を入力。
- ➡ **摘要欄記載事項 92 摘要欄の「(摘要)」部分が赤○されていれば、1 を入力。**
- ➡ 個人番号 76 に記載されている番号を入力
- ➡ 配偶者の個人番号 77 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の個人番号 1 78 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の個人番号 2 79 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の個人番号 3 80 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の個人番号 4 81 に記載されている番号を入力
- ➡ 16 歳未満の個人番号 1 82 に記載されている番号を入力
- ➡ 16 歳未満の個人番号 2 83 に記載されている番号を入力
- ➡ 16 歳未満の個人番号 3 84 に記載されている番号を入力
- ➡ 16 歳未満の個人番号 4 85 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族欄外の個人番号記載有無 86 に文字及び番号が記載されていれば 1 を入力
- ➡ 16 歳未満欄外の個人番号記載有無 87 に文字及び番号が記載されていれば 1 を入力
- ➡ 非居住者である親族の数 88 に記載されている数値を入力
- ➡ 基礎控除 89 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ➡ 所得金額調整控除 90 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ➡ ひとり親 91 にサイン (1、*、○等) があれば 1、なければ入力なし
- ➡ 源泉徴収時所得税減税控除済額 使用しない
- ➡ 控除外額 使用しない
- ➡ 非控除対象配偶者減税有 使用しない
- ➡ **特定親族 95 に記載されている番号を入力**
- ➡ **特定親族特別控除 96 に記載されている番号を入力**
- ➡ **扶養親族の区分 1 97 に記載されている番号を入力**
- ➡ **扶養親族の区分 2 98 に記載されている番号を入力**
- ➡ **扶養親族の区分 3 99 に記載されている番号を入力**
- ➡ **扶養親族の区分 4 100 に記載されている番号を入力**

※住宅借入金等特別控除区分 1、2 のコード詳細は以下のとおりです。

- 1 . . . 住 (住宅借入金等特別控除)
- 2 . . . 認 (認定長期優良住宅)
- 3 . . . 増 (特定増改築等)
- 4 . . . 震 (震災特例法第 16 条適用)
- 11 . . . 住 (特) ※特定取得

- 12・・・認（特） ※特定取得
- 13・・・増（特） ※特定取得
- 21・・・住（特特） ※特別特定取得、特例取得、特別特例取得
- 22・・・認（特特） ※特別特定取得、特例取得、特別特例取得
- 24・・・震（特特） ※特別特定取得、特例取得、特別特例取得
- 31・・・住（特特特） ※特例特別特例取得
- 32・・・認（特特特） ※特例特別特例取得
- 34・・・震（特特特） ※特例特別特例取得
- 41・・・住（特家） ※特例居住用家屋
- 42・・・認（特家） ※特例居住用家屋
- 44・・・震（特家） ※特例居住用家屋

1.3.イメージ番号について

J A 0 5 0 K K K K N N N N N N （K K K K K : 管理 NO N N N N N N : 管理 NO 毎の連番）

（例） J A 0 5 0 1 0 0 1 0 0 0 0 5 0・・・管理 NO が 1 0 0 1、連番が 5 0 の資料

上記の通り、年度毎に一意となる番号を付番してください。

※ハイフンは必要ありません。

※スキャニングを行わない場合は入力する必要はありません

1.4.不明フラグについて

イメージパンチを行うときのみ使用してください。（フセン処理の代わりとして用いる項目です。）

入力する明細の内容により、以下の番号を入力してください

- 0 … 入力に問題なし。
- 1 … 要確認（ある程度中身のパンチをしているが、確認をしていただく項目がある）
 ※項目の一部が確実に判断できない場合など。
- 9 … 摘要欄の左上に赤字で「◎」の記載がある場合

※給与支払報告書に不明フラグを使用した場合には、「イメージ番号・項目名・不明とした理由・入力内容」を記載したリストを作成し、パンチデータのファイルと同じ媒体に記録し提出してください。

※不明フラグを使用する場合でも、読み取れない項目・数字等を省略することなく入力してください。

◎ 表紙

冊 号			①																
資料区分		給与支払報告書																	
種 別		③																	
件 数			②			うち個人別明細件数													
						()													
分類	入力区分	3	0	指定 番号															

◎ 総括表

令和

給与支払報告書（総括表）

指 定 番 号

⑤

年 月 日提出

給与の支払期間

令和 年 月分から 月分まで

給与支払者の
個人番号又は法人番号

⑥

フリガナ

事業種目

給与支払者の
名称又は氏名

受給者員

人

所得税の源泉徴収
をしている事務所
又は事業所の名称

特別徴収対象者

人

フリガナ

報告

普通徴収対象者
（退職者）

人

同上の所在地

郵便番号

人員

普通徴収対象者
（退職者を除く）

人

給与支払者が
法人である場合
の代表者の氏名

員

報告人員の合計

④ 人

連絡者の氏名、
所属課、係名
及び電話番号

課 係

氏名

（電話 ）

所 税 務 署 轄 名

税務署

給与の支払方法
及びその期日

関与税理士氏名

氏名
（電話 ）

納入書の送付

⑦ 必要 ・ 不要

（〇〇市提出用）

◎ 仕切り紙（普通徴収申請書など）

※普通徴収の仕切り紙の代わりとして使用する

普通徴収申請書		
〇〇市長あて		指定番号
		事業者名
この用紙以降の者は、下記理由で特別徴収できないため、普通徴収として申請します。		
略号	申請理由（下記7項目以外の理由は不可）	人数
A	給与の支払期間が1月を超える期間によって定められている給与のみ	人
B	外国航路を航行する船舶の乗組員で、1月を超える期間以上乗船するため慣行として不定期	人
C	総受給者数（乙欄・退職者を除いた合計）が2名以下	人
D	退職している（又は5月末日までに退職予定）	人
E	給与が少なく個人住民税額が引ききれない	人
F	給与の支払いが不定期又は通年の雇用ではない	人
G	他の事業所で特別徴収をする（乙欄該当者）	人
普通徴収申請者 合計人数		人
～重要～ ○この申請書は、普通徴収申請者（特別徴収できない人）の個人別明細書の上に付けて提出してください。 ○普通徴収申請者の個人別明細書摘要欄には、必ず略号（A～G）を記入してください。		

※										※種 別					※整 理 番 号					※											
										9					6																
支 払 受 け 者	住 所	※区分										(受給者番号) 7																			
												(個人番号) 76																			
												(役職名)																			
												氏 名 (フリガナ) 8																			
種 別					支 払 金 額					給与所得控除後の金額 (調 整 控 除 後)					所得控除の額の合計額					源 泉 徴 収 税 額											
					10					11					12					13											
(源泉)控除対象配偶者の有無等			配 偶 者 (特 別) 控 除 の 額			控 除 対 象 扶 養 親 族 の 数 (配 偶 者 を 除 く 。)										16歳未満 扶養親族 の 数			障 害 者 の 数 (本 人 を 除 く 。)			非居住者 である 親族の数									
老人						特 定		老 人		其 他		特 親					特 別		其 他												
有 従有			16			人 従人		内 人 従人		人 従人		人 従人		95			65			22		23		24		88					
特定親族特別控除の額					社会保険料等の金額					生命保険料の控除額					地震保険料の控除額					住宅借入金等特別控除の額											
96					26 25					27					28					29											
(摘要)																															
92 70 71																															
35 前職分給与 円																															
生命保険料 の金額の内 訳		新生命保険料 の金額		66 円		旧生命保険料 の金額		67 円		介護医療保 険料の金額		68 円		新個人年金 保険料の金額		69 円		旧個人年金 保険料の金額		31 円											
住 宅 借 入 金 等 特 別 控 除 の 内 訳		住宅借入金等 特別控除適用数		64		居住開始年月日 (1回目)		58		住宅借入金等特別 控除区分(1回目)		59		住宅借入金等 年末残高(1回目)		60															
		住宅借入金等 特別控除可能額		57 円		居住開始年月日 (2回目)		61		住宅借入金等特別 控除区分(2回目)		62		住宅借入金等 年末残高(2回目)		63															
(源泉・特別) 控除対象 配偶者		(フリガナ) 氏 名		区分		配偶者の 合計所得		30 円		国民年金保 険料等の金額		56 円		旧長期損害 保険料の金額		32 円															
		個人番号 77								基礎控除の額		89 円		所得金額 調整控除額		90 円															
控 除 対 象 扶 養 親 族		(フリガナ) 氏 名		区分		1 6 歳 未 満 の 扶 養 親 族		(フリガナ) 氏 名		区分		5 人 目 以 降 の 控 除 対 象 扶 養 親 族 の 個 人 番 号		86																	
		個人番号 78						個人番号 82																							
		(フリガナ) 氏 名		区分				(フリガナ) 氏 名		区分																					
		個人番号 79						個人番号 83																							
		(フリガナ) 氏 名		区分				(フリガナ) 氏 名		区分																					
		個人番号 80						個人番号 84																							
		(フリガナ) 氏 名		区分				(フリガナ) 氏 名		区分																					
		個人番号 81						個人番号 85																							
未 成 年 者		外 国 人		死 亡 退 職		災 害 者		乙 欄		本人が障害者 特 別 其 他		寡 婦		ひ り 親		勤 労 学 生		中 途 就 ・ 退 職		受 給 者 生 年 月 日		就 職 退 職 年 月 日		元 号 年 月 日							
		37		48		46		47		38		39		40		42										91		45		49	
支 払 者		個人番号又は 法人番号																													
		住所(居所) 又は所在地																													
		氏名又は名称																													
(右詰で記載してください。)																															
(電話)																															

◎ 給与支払報告書（個人別明細書） ※旧様式

※										※種 別					※整 理 番 号					※											
										9					6																
支 払 受 け 住 所	※区分										(受給者番号) 7																				
											(個人番号) 76																				
											(役職名)																				
											氏 名 (フリガナ) 8																				
種 別					支 払 金 額					給与所得控除後の金額 (調 整 控 除 後)					所得控除の額の合計額					源 泉 徴 収 税 額											
					10					11					12					13											
(源泉)控除対象配偶者の有無等			配 偶 者 (特 別) 控 除 の 額			控 除 対 象 扶 養 親 族 の 数 (配 偶 者 を 除 く 。)					16歳未満 扶養親族 の 数			障 害 者 の 数 (本 人 を 除 く 。)			非居住者 である 親族の数														
有 従 有			老人			特 定		老 人			そ 他			特 別			そ 他														
14			16			人 従 人		人 内 人 従 人			人 人 従 人			65			22 23 24 88														
社会保険料等の金額					生命保険料の控除額					地震保険料の控除額					住宅借入金等特別控除の額																
26 25					27					28					29																
(摘要)																															
92 70 71																															
35 前職分給与 円																															
生命保険料 の金額の内 訳		新生命保険料 の金額			円 66			旧生命保険料 の金額			円 67			介護医療保 険料の金額			円 68			新個人年金 保険料の金額			円 69			旧個人年金 保険料の金額			円 31		
住 宅 借 入 金 等 特 別 控 除 の 内 訳		住宅借入金等 特別控除適用数			円 64			居住開始年月日 (1 回目)			円 58			住宅借入金等特別 控除区分(1 回目)			円 59			住宅借入金等 年末残高(1 回目)			円 60								
		住宅借入金等 特別控除可能額			円 57			居住開始年月日 (2 回目)			円 61			住宅借入金等特別 控除区分(2 回目)			円 62			住宅借入金等 年末残高(2 回目)			円 63								
(源泉・特別) 控除対象 配偶者		(フリガナ)			氏 名			区 分			配偶者の 合計所得			円 30			国民年金保険 料等の金額			円 56			旧長期損害 保険料の金額			円 32					
		個人番号			77									基礎控除の額			円 89			所得金額 調整控除額			円 90								
控 除 対 象 扶 養 親 族		1 (フリガナ)			氏 名			区 分			1 6 歳 未 満 の 扶 養 親 族			1 (フリガナ)			氏 名			区 分			5 人 目 以 降 の 控 除 対 象 扶 養 親 族 の 個 人 番 号								
		個人番号			78			個人番号						82																	
		2 (フリガナ)			氏 名			区 分						2 (フリガナ)			氏 名			区 分											
		個人番号			79			個人番号						83																	
		3 (フリガナ)			氏 名			区 分						3 (フリガナ)			氏 名			区 分											
		個人番号			80			個人番号						84																	
		4 (フリガナ)			氏 名			区 分						4 (フリガナ)			氏 名			区 分											
		個人番号			81			個人番号						85																	
未 成 年 者		外 国 人		死 亡 退 職		災 害 者		乙 欄		本人が障害者 特 別 そ の 他		寡 婦		ひ と り 親		勤 労 学 生		中 途 就 ・ 退 職					受 給 者 生 年 月 日								
37		48		46		47		38		39 40		42		91		45		就 職 退 職 年 月 日					元 号 年 月 日								
49		50		51		52		53		54																					
支 払 者		個人番号又は 法人番号			(右詰で記載してください。)																										
		住所(居所) 又は所在地																													
		氏名又は名称																													
(電話)																															

個人住民税

1. 公的年金等支払報告書パンチ入力仕様（令和 9 年度暫定版）

1.1. 概要

公的年金等支払報告書については、以下のようなかたまりで送付されてきます。

- ① 表紙
- ③ 公的年金等支払報告書
- ① が大枠で③が明細となります。

この内容で、CSV 形式（カンマ編集）でレコードを出力します。

1.2. 実際のパンチ

1.2.1. 表紙の入力（①）

表紙には、バッチ連番・件数・指定番号・徴収区分・入力区分・イメージ番号が記入されています。

- ➡ 区分 「1」（冊号）を入力
- ➡ バッチ連番 ①冊号に記入してある数値を入力
- ➡ 件数 ②件数に記入してある件数を入力
- ➡ 指定番号 使用しない
- ➡ 徴収区分 「3」を入力
- ➡ 入力区分 「1 1」（パンチ（年金））を入力
- ➡ 不明フラグ 1.3 を参照し該当の番号を入力
- ➡ イメージ番号 使用しない

1.2.2. 公的年金等支払報告書の入力（③）

公的年金等支払報告書については、サンプルに数字を振ってありますので、その個所をパンチします。

- ➡ 区分 「3」（年金報告書）を入力
- ➡ パンチカナ氏名 ⑥記入があればパンチ、なければ入力なし（半角カナで入力）
- ※ 姓名の間に 1 スペース入れてください。
- ※ カナ欄が無記入でも漢字欄にカタカナまたはひらがなで記入されている場合は、漢字欄に記載のものを。
- ※ 「ー」（長音）については「-」（ハイフン）「ー」（長音）」いずれの入力でも可能です。
- ➡ パンチ生年月日 ⑦和暦 7 桁で入力する。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
(元号：明治…1、大正…2、昭和…3、平成…4、令和…5)
(例：昭和 4 5 年 3 月 2 7 日だった場合→3450327 と入力する。)
- ➡ 資料番号 使用しない
- ➡ 徴収区分 「3」（普徴）を入力
- ➡ 控対配あり ⑩でサイン（1、*、○等）があれば 1、なければ入力なし
- ➡ 控対配老人 ⑪にサイン（1、*、○等）があるとき 1、なければ入力なし
- ➡ 扶養特定 ⑫に記入があればその人数、なければ入力なし
- ➡ 扶養老人合計 21 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ➡ 扶養一般 22 に記入があればその人数、なければ入力なし

- ㊦ 特別障害同居..... 27 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 特別障害合計..... 23 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ その他障害 24 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 社会保険料控除 25 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 本人特別障害..... ⑭にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人その他障害 ⑮にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 年金支払金額 1 ⑧記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金源泉税額 1 ⑨記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金支払金額 2 ⑩記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金源泉税額 2 ⑪記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金支払金額 3 ⑫記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金源泉税額 3 ⑬記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 不明フラグ 1.4 を参照し該当の番号を入力
- ㊦ イメージ番号..... スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
- ㊦ 16 歳未満扶養親族 26 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 本人特別寡婦..... 入力なし
- ㊦ 本人寡婦寡夫..... 29 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 配偶者所得 30 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 訂正区分..... 70 摘要欄に訂正等の文字があり赤○されていれば、1 を入力。
- ㊦ 年金支払金額 4 72 記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金源泉税額 4 73 記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 個人番号..... 76 に記載されている番号を入力
- ㊦ 配偶者の個人番号..... 77 に記載されている番号を入力
- ㊦ 扶養親族の個人番号 1 78 に記載されている番号を入力
- ㊦ 扶養親族の個人番号 2 79 に記載されている番号を入力
- ㊦ 16 歳未満の個人番号 1 82 に記載されている番号を入力
- ㊦ 16 歳未満の個人番号 2 83 に記載されている番号を入力
- ㊦ 非居住者である親族の数..... 88 に記載されている数値を入力
- ㊦ 本人ひとり親..... 91 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 源泉徴収時所得税減税控除済額 使用しない
- ㊦ 控除外額..... 使用しない

1.3.イメージ番号について

J A 0 6 0 K K K K N N N N N N （K K K K : 管理NO N N N N N N : 管理NO毎の連番）

（例）J A 0 6 0 1 0 0 1 0 0 0 0 5 0 ・ ・ ・ 管理NOが1 0 0 1、連番が5 0 の資料

上記の通り、年度毎に一意となる番号を付番してください。

※ハイフンは必要ありません。

※スキャニングを行わない場合は入力する必要はありません

1.4.不明フラグについて

イメージパンチを行うときのみ使用してください。（フセン処理の代わりとして用いる項目です。）

入力する明細の内容により、以下の番号を入力してください

- 0 … 入力に問題なし。
- 1 … 要確認（ある程度中身のパンチをしているが、確認をしていただく項目がある）
※項目の一部が確実に判断できない場合など。
- 9 … 摘要欄の左上に赤字で「◎」の記載がある場合

※年金支払報告書に不明フラグを使用した場合には、「資料番号・項目名・不明とした理由・入力内容」を記載したリストを作成し、パンチデータのファイルと同じ媒体に記録し提出してください。

※不明フラグを使用する場合でも、読み取れない項目・数字等を省略することなく入力してください。

◎ 表紙

冊 号				①	
資料区分		年金支払報告書			
種 別		普通徴収			
件 数		②			
分類	入力区分	1	1	指定番号	

◎ 公的年金等支払報告書

公的年金等支払報告書(個人別明細書)															※種 別		※整理番号		※																																																																																																														
支払を受ける者															個人番号		76																																																																																																																
※区 分																																																																																																																																	
住 所																																																																																																																																	
(フリガナ)					6		生年 月 日		7		明 治		大 正		昭 和		平 成		令 和																																																																																																														
氏 名																																																																																																																																	
区 分					支 払 金 額					源 泉 徴 収 税 額																																																																																																																							
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分					8					9																																																																																																																							
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分					10					11																																																																																																																							
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分					12					13																																																																																																																							
所得税法第203条の3第7号適用分					72					73																																																																																																																							
本 人					源泉控除対象配偶者の有無等					控除対象扶養親族の数					16歳未満の扶養親族の数					障害者の数					非居住者である親族の数					社会保険料の額																																																																																																			
特 別 障害者					その他の 障害者					ひとり親 家庭					一般					老人					特定					老人					その他					26人					27人					23人					24人					88人					25人																																																																
14					15					91					29					17					19					20人					21人					22人					26人					27人					23人					24人					88人					25人																																																											
源泉控除対象配偶者										控除対象扶養親族										16歳未満の扶養親族																																																																																																													
(フリガナ)										区分										配偶者の合計所得										(フリガナ)										区分										(フリガナ)										区分																																																																					
氏名										30										円										1										氏名										1										氏名										1																																																											
個人番号										77										48万円以下										1										個人番号										78										1										個人番号										82										1																																							
(摘要)										70 55										2										2										2										2										2										2																																																											
法人番号																																																																																																																																	
支 払 者										所 在 地																																																																																																																							
名 称																																																																																																																																	
										</																																																																																																																							

固定資産税

1.パンチ共通仕様（令和9年度暫定版）

1.1.入力票一覧

入力する原票は次の表のとおり。

入力票名称	パンチファイル名
償却資産申告書	SINKOKU.CSV
償却資産種類別明細書	MEISAI.CSV

1.2.ファイルの仕様について

<媒体>

コンパクトディスク（CD-R）・・・12cm、700MB または 650MB

ハードディスク（HDD）・・・3.5 インチ、FAT 形式

媒体については上記の他、DVDなども使用可能とするが、パンチデータ及びイメージデータを基幹系システム（トーテックアメニティ(株)総合行政システム G-COAS）で読み込むことができる媒体を選択すること。その他の媒体については別途協議のこと。

<文字コード>

Shift-JIS

<ファイル形式>

パンチファイル・・・カンマ区切りテキストファイル（CSV ファイル）（可変長）

<ファイル名>

パンチファイル・・・SINKOKU.CSV

MEISAI.CSV

1.3.データの授受について

申告書優先分、一品明細優先分は別々の束にして授受。

①申告書優先分の束は、申告書のみパンチ。種類別明細書のパンチは行わないこと。

②一品明細分の束は、種類別明細書のみパンチ。申告書のパンチは行わないこと。

1.4.入力時の注意点

①漢字名称登録は、第2水準までの置換えとする。不明文字は■入力で付箋貼付対応とすること。

②普通申告（一品優先）は種類別明細書の所有者コードが空欄の場合は申告書の所有者コードに合わせること。

③明細の取得日が、和暦コード（50703）でなく、通常のと暦（R7.03）と記入されている場合読み替えること。

和暦コードは別添の「償却資産明細パンチ取り込みファイルレイアウト」 No.8 を参照

システム名	サブシステム名	作成者	承認者	作成日
テーブル名	スキーマ			
JET E PUNCH.M	CASKOKYO			

No.	項 目 名	型	長さ	小数	必須	主キー	備 考	データ説明	入力規則	サンプルデータ						
1	SANTEIDANTAI_CD	NUMBER	2	0	Y		算定団体コード	「2」を入力してください。 ※市町村合併時に旧団体ごとのコードを入力する項目となります	半角数字2桁、必須項目	2	2	2	2	2	2	2
2	GIMU_KOJIN_NO	NUMBER	12	0	Y		所有者コード	所有者の個人番号	半角数字12桁、必須項目	8102252	8409838	8409838	8409838	8409838	8102228	8102228
3	DATA_KBN	NUMBER	1	0			データ区分	データ区分のコードは以下のようになります。 1.追加 3.修正 9.削除	半角数字1桁	1	1	1	1	1	1	1
4	SHISAN_SHURUI	NUMBER	1	0			資産種類	資産種類コードは以下のようになります。 1.建築物 2.機械及び装置 3.船舶 4.航空機 5.車両及び運搬具 6.工具・機械及び備品 9.合計	半角数字1桁	2	6	6	6	1	2	2
5	SHISAN_CD	NUMBER	8	0	Y		資産コード	新規分に関しては左記のような入力方法でも構いませんが、修正分・削除分に関しては元の資産コードを入力していただく必要があります。 ※新規分の資産コードを設定しない場合はシステムで義務者内の資産コードの最大番号の連番で自動付番をおこないます。	半角数字8桁、必須項目	0	0	0	0	0	0	0
6	MEISHO_KANJI	NVARCHAR2	40				資産名称	最大全角40文字で入力可能です。	40文字以内であれば全角・半角どちらでも	ヨウセツキ	コウグ	レーザー	パソコン	スライド	コイ	スペクトル
7	SURYO	NUMBER	4	0			数量		半角数字4桁	1	1	1	1	1	1	1
8	SHUTOKU_NEN	NUMBER	3	0			取得年	和暦のコードは以下のようになります。 1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成 5:令和 例)平成18年 ⇒ 418	半角数字3桁、和暦入力	403	418	501	418	418	418	418
9	SHUTOKU_TSUKI	NUMBER	2	0			取得月		半角数字2桁	1	6	10	1	1	2	3
10	SHUTOKU_GAKU	NUMBER	12	0			取得価額		半角数字12桁	250000	125000	169050	114765	350000	2786144	3304000
11	TAIYO_NENSU	NUMBER	3	0			耐用年数		半角数字3桁	7	2	2	4	15	5	5
12	ZANZON_RITSU	NUMBER	3	0			減価残存率	実データを入力していただく必要はありません。ですがパンチデータとしては0を入力していただく必要があります。	半角数字3桁	0	0	0	0	0	0	0
13	KETEI_GAKU	NUMBER	12	0			決定価格		半角数字12桁	0	0	0	0	0	0	0
14	TOKUREI_RITU	NUMBER	3	0			特例率	分子1桁分母2桁としてパンチしてください。分子「1」、分母「2」と記入してある場合は、「102」にてパンチしてください。	半角数字3桁	102	0	0	0	0	0	0
15	TOKUREI_KBN	NUMBER	3	0			特例コード		半角数字3桁	5	0	0	0	0	0	0
16	TOKUREI_GENNEN	NUMBER	3	0			特例限年	実データを入力していただく必要はありません。ですがパンチデータとしては0を入力していただく必要があります。	半角数字3桁	0	0	0	0	0	0	0
17	TOKUREI_GAKU	NUMBER	12	0			軽減課税額		半角数字12桁	0	0	0	0	0	0	0
18	KAZEI_HJ_GAKU	NUMBER	12	0			課税標準額		半角数字12桁	0	0	0	0	0	0	0
19	ZOKA_JIYU	NUMBER	1	0			事由		半角数字1桁	0	0	0	0	0	0	0
20	SAITEI_GENDO_KBN	NUMBER	1	0			最低限度区分	実データを入力していただく必要はありません。	半角数字1桁	0	0	0	0	0	0	0
21	TAIYO_NENSU_HENKO	NUMBER	3	0			制度改正に伴う耐用年数変更		半角数字3桁							
22	TAIYO_NENSU_HENKO_KBN	NUMBER	1	0			耐用年数変更区分		半角数字1桁							

※パンチデータの文字コードはS-JISになります。

固定資産税 償却資産 穿孔仕様書 (申告データ)

テーブル名 ファイル形式

JET_E_PUNCH_S C S V ファイル (各項目の間にカンマをセットしてください。)

レコード長

可変長

No.	必須	項目名	タイプ	長さ	データ説明	入力規則	サンプルデータ		
1	Y 1	算定団体コード	9	2	「2」を入力してください。	半角数字2桁、必須項目、前ゼロ不要	2	2	2
2	Y 2	所有者コード	9	12	所有者の個人番号 「現行住民コード8ケタ」 「01234567」 住民コード8ケタ	半角数字12桁、必須項目、前ゼロ不要	8367558	8108498	8128464
3		データ区分	9	1	データ区分のコードは以下のようになります。 1：追加 3：更新 9：削除←削除は画面より行ってください。	半角数字1桁	1	3	9
4		前年前取得価額1	9	12	構築物のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	258457
5		前年中減少価額1	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	258457
6		前年中取得価額1	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	58129750	936310	0
7		取得価額1	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	58129750	936310	0
8		帳簿価額1	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	51795572	759459	0
9		評価額1	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	54327139	847884	0
10		決定価額1	9	12	機械及び装置のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
11		課税標準額1	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
12		前年前取得価額2	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
13		前年中減少価額2	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
14		前年中取得価額2	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	9038899	0	0
15		取得価額2	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	9038899	0	0
16		帳簿価額2	9	12	船舶のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	7344921	0	0
17		評価額2	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	8017491	0	0
18		決定価格2	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
19		課税標準額2	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
20		前年前取得価額3	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
21		前年中減少価額3	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
22		前年中取得価額3	9	12	航空機のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
23		取得価額3	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
24		帳簿価額3	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
25		評価額3	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
26		決定価額3	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
27		課税標準額3	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
28		前年前取得価額4	9	12	車両及び運搬具のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
29		前年中減少価額4	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
30		前年中取得価額4	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
31		取得価額4	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
32		帳簿価額4	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
33		評価額4	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
34		決定価格4	9	12	工具、器具及び備品のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
35		課税標準額4	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
36		前年前取得価額5	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
37		前年中減少価額5	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
38		前年中取得価額5	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
39		取得価額5	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
40		帳簿価額5	9	12	合計のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
41		評価額5	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
42		決定価格5	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
43		課税標準額5	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
44		前年前取得価額6	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	4573152	0
45		前年中減少価額6	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	2744250	0
46		前年中取得価額6	9	12	工具、器具及び備品のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	12997034	66800	0
47		取得価額6	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	12997034	1895702	0
48		帳簿価額6	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	8924747	852645	0
49		評価額6	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	10550895	837727	0
50		決定価格6	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
51		課税標準額6	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
52		前年前取得価額7	9	12	合計のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	4573152	258457
53		前年中減少価額7	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	2744250	258457
54		前年中取得価額7	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	80165683	1003110	0
55		取得価額7	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	80165683	2832012	0
56		帳簿価額7	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	68065240	1612104	0
57		評価額7	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	72895525	1685611	0
58		決定価格7	9	12	合計のデータです。	半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0
59		課税標準額7	9	12		半角数字12桁、前ゼロ不要、未入力は「0」をセット	0	0	0

※パンチデータの文字コードはS-JISになります。

償却資産申告書 パンチ項目番号

1 算定団体コード「2」

3

受付印		年 月 日		年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳）		※ 所 有 者 コ ー ド 2 09897654	
所 有 者	1 (ふりがな) 住 所 又は納税通 知書送達先	(電話)		3 個人番号又は 法人番号		8 短縮耐用年数の承認	有・無
	2 (ふりがな) 氏 名 法人にあっ てはその名 称及び代表 者の氏名	(屋号)		4 事業種目 (資本等の金額) (百万円)		9 増加償却の届出	有・無
				5 事業開始 年 月	年 月	10 非課税該当資産	有・無
				6 この申告に回答 する者の係及び 氏名	(電話)	11 課税標準の特例	有・無
				7 税理士等の 氏名	(電話)	12 特別償却又は圧縮配帳	有・無
						13 税務会計上の償却方法	定率法・定額法
						14 青色申告	有・無
資産の種類		取 得 価 額		15 市(区) 町村内に おける事業 所等資産の 所在地		① ② ③ ④	
		前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)		
1	構築物	4	5	6	7 456,789		
2	機械 及び装置	12	13	14	15		
3	船舶	20	21	22	23		
4	航空機	28	29	30	31		
5	車両及び 運搬具	36	37	38	39		
6	工具、器具 及び備品	44	45	46	47 23,567		
7	合計	52	53	54	55 580,245		
資産の種類		※ 評 価 額 (ホ)		※ 決 定 価 格 (ヘ)		16 借用資産 貸主の名称等 (有・無)	
						17 事業所用家屋の 所有区分 自己所有・借家	
1	構築物	9 234,567		10 234,567		18 備考 該当項目がある場合はチェックして下さい。 ☐ 解散・廃業等 年 月 解散・廃業・その他() ☐ 組織等の変更 年 月 変更 ☐ 前年度より増減無し ☐ 該当資産無し	
2	機械 及び装置	17		18		19	
3	船舶	25		26		27	
4	航空機	33		34		35	
5	車両及び 運搬具	41		42		43	
6	工具、器具 及び備品	49 12,345		50 12,345		51 12,345	
7	合計	57 255,912		58 255,912		59 255,912	

第二十六号様式
提出用・控え用

償却資産明細書 パンチ項目番号

1 算定団体コード「2」

※所有者コード		※		年度 種類別明細書(増加資産・全資産用)										所有者名		枚のうち	
2																枚目	
行 番 号	資産 の 種類	資産 コード	資 産 の 名 称 等	数 量	取得年月	取得価額	耐用 年数	減価 残存率	価 額	※課税標準の 率	※課税標準の コード	※課税標準額	増加 事由	摘 要			
3	5	4	6	7	8	9	10	11		14	15		1・2 3・4				
2													1・2 3・4				
3													1・2 3・4				
4													1・2 3・4				
5													1・2 3・4				
6													1・2 3・4				
7													1・2 3・4				
8													1・2 3・4				
9													1・2 3・4				
10													1・2 3・4				
11													1・2 3・4				
12													1・2 3・4				
13													1・2 3・4				
14													1・2 3・4				
15													1・2 3・4				
16													1・2 3・4				
17													1・2 3・4				
18													1・2 3・4				
小 計																	

注意 「増加事由」の欄は 1 新品取得 2 中古品取得 3 移動による受け入れ 4 その他いずれかに○印を付けてください

1
第二十六号様式別表一